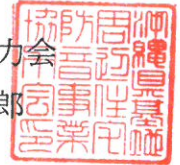


平成 31 年 1 月 28 日

中 部 市 町 村 会  
会 長 島 袋 俊 夫 殿

沖縄県基地周辺住宅防音事業協力会  
会 長 武 山 三 郎



住宅防音事業における国への意見書提出について（要請）

日頃より住宅防音事業並びに当協力会の活動に対し、ご配慮を賜り、誠にありがとうございます。また、平成 29 年 2 月に、弊会が事務局を務めた実行委員会にて、コンター見直し中止を求める総決起大会の実行委員長就任並びに要請活動を行っていただき、嘉手納基地周辺コンター見直し中止及び 7.5W 以上区域における建具復旧工事等が実現したのは、ひとえに貴会並びに島袋会長のご尽力の賜物です。改めまして厚く御礼申し上げます。

さて、このたび平成 31 年度政府における沖縄県の住宅防音関連予算案が計上されました。多額な予算となり、弊会としても予算執行に協力していく所存です。

これら予算計上に感謝しつつ、この予算を活用し、騒音被害に悩まされている切実な声に耳を傾け、負担軽減に反映させていく上でも、米軍飛行場周辺で生活する住民にとって、悲願ともいえる 8.0W 以上及び 7.5W 以上区域の防音工事について、8.5W 以上区域と同様に、平成 20 年 3 月 10 日までに建築された住宅が対象となるよう要望しております。

つきましては、別添の意見書案を参照いただき、貴会より要請書を国に提出していただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

沖縄における80W以上及び75W以上区域の  
住宅防音工事の対象拡大実施について（要請）

日頃より住宅防音事業において、沖縄における特殊事情にご配慮賜り、誠にありがとうございます。また、平成29年度、平成30年度住宅防音関連予算、嘉手納飛行場周辺コンタ見直し中止及び75W以上区域における建具復旧工事实現等、弊会からの要望を真摯に受け止め、実現いただきましたことに心より感謝申し上げます。

さて、嘉手納飛行場、普天間飛行場周辺地域においては、かねてより、多くの住民から、昭和58年3月以降に建築された住宅も早期に住宅防音工事実施を求める声が寄せられています。これら地域は、発展めまぐるしく、人口も急速に伸びているものの、実に35年以上もの間、住宅防音事業が実施されず、騒音被害にさらされている住民が数多くいます。

このような中、嘉手納飛行場、普天間飛行場においては外来機の暫定配備、一時的な外来機の飛来そして早朝、夜間飛行も多く、周辺地域に深刻な騒音被害が出ております。

このたびの多額な予算計上に感謝しつつ、これら予算を活用し、騒音被害に悩まされている切実な声に耳を傾け、負担軽減に反映させていく上でも、以下の内容について取り組んでいただくよう要望します。

要請事項

米軍飛行場周辺における80W以上及び75W以上区域の住宅防音工事の対象も、85W以上区域と同様に、平成20年3月10日までに建築された住宅とすること。

以上

要請先

内閣総理大臣、防衛大臣、